

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場会社名 アルファグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3322 URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉岡 伸一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 松浦 孝暢 TEL 03-5469-7300
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	15,559	△2.2	462	116.3	631	95.2	647	332.7
2019年3月期第3四半期	15,907	1.7	213	23.4	323	61.7	149	193.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 647百万円 (332.7%) 2019年3月期第3四半期 149百万円 (193.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	229.14	229.08
2019年3月期第3四半期	52.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	8,507	4,429	52.1	1,567.25
2019年3月期	9,333	3,833	41.0	1,353.11

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 4,429百万円 2019年3月期 3,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,062	△3.3	381	12.1	576	15.7	557	273.8	197.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 一社 （社名） 、除外 1社 株式会社インチャージ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	3,481,200株	2019年3月期	3,481,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	654,883株	2019年3月期	654,883株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	2,826,317株	2019年3月期3Q	2,826,317株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 一般的概況

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)における我が国の経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いている一方で、米中貿易摩擦の長期化等の通商問題の動向、英国のEU離脱問題、金融資本市場の変動等が世界経済に与える影響が懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、当社グループは、既存事業において堅調な収益を確保すると共に、数期にわたる投資の結果として育ち始めた新規事業を強固な収益基盤へと育て上げるべく事業運営に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高155億59百万円(前年同四半期比2.2%減)、営業利益4億62百万円(前年同四半期比116.3%増)、経常利益6億31百万円(前年同四半期比95.2%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益6億47百万円(前年同四半期比332.7%増)となりました。

② セグメント情報

<モバイル事業>

モバイル事業におきましては、2019年10月施行の改正電気通信事業法に対応した新料金プランを各通信事業者が打ち出していることや新たな通信事業者が参入予定であること、またこの数年でMVNO(仮想移動体通信事業者)端末の普及がさらに進み、顧客の通信端末利用環境がより多様化していることなどから、市場におけるサービス競争は新たな局面を迎えております。

各通信事業者における長期利用顧客の維持・拡大を企図した施策を受けて買い控えが生じる一方で、消費税増税や新料金プラン導入前の駆け込み需要等の外部的要因により、販売台数に影響が生じております。そのため、通信端末のみならず通信事業者が展開する各種商材についてもこれまで以上に積極的に展開していくなどの取り組みに注力いたしました。また、サービス内容が複雑になるなど、より専門性が求められるようになった携帯電話販売ショップへ従業員を派遣する人材派遣を新たに開始いたしました。なお、スマートフォンアクセサリ専門ショップにつきましては、2019年11月1日付けでこれを主管していた当社連結子会社の全株式を譲渡し、事業運営から撤退しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は98億38百万円(前年同四半期比9.4%減)、営業利益1億64百万円(前年同四半期比44.1%増)となりました。

<オフィスサプライ事業>

オフィスサプライ事業におきましては、引き続き当社保有のコールセンターの活用により「カウネット」の新規顧客獲得と既存登録顧客への継続利用の促進を行うなどの取り組みに注力すると共に、グループ内でのシナジーを図って、環境商材事業における新規顧客獲得などにも取り組みました。また、株式会社カウネットが提供する間接材一括購入システムである「べんりねっと」の導入提案を、従業員数が500名を超える規模の法人顧客に向けて積極的に進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は45億81百万円(前年同四半期比0.1%減)、営業利益2億9百万円(前年同四半期比25.4%増)となりました。

<環境商材事業>

環境商材事業におきましては、LED照明機器の販売・レンタルを主軸に、電力の小売やウォーターサーバーで使用するウォーターパックの販売、保有ソーラーパークを活用した太陽光発電などを展開しております。

LED照明機器の販売・レンタルにおきましては、LED照明機器への置き換えが一段落するまでに、病院や公共団体の施設等に対して積極的に導入の提案を行っております。契約時点において費用が発生することになるレンタルというスキームに特に注力した結果、当社グループ全体への収益貢献という段階にはまだ至っておりませんが、医療法人を中心とする広範な顧客基盤がこれまでの営業活動の結果として確立できました。今後は、先行投資の回収へと移行すると共に、この顧客基盤を活用してLED照明機器のみならず職場環境等の改善に資するような各種商材を展開してまいります。

電力の小売におきましては、一般家庭や商店などを対象とする低圧区分まで自由化の動きが広がり、電力の小売が完全に自由化されたことを受けて、2018年7月より当社グループにおきましても「アルファ電力」の提供を開始いたしました。特に低圧で受電する法人顧客をターゲットに営業活動を展開しております。

ウォーターパックの販売におきましては、新規の利用顧客の獲得といった活動は行っていないものの、既存顧客の継続的な購入により、堅調に収益を確保しております。また、太陽光発電におきましても、新たな投資を控えて売電収入の確保に注力しております。これら2つの商材においては、投資に対して最小限の費用で継続収益を確保するというビジネスモデルを確立しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11億52百万円（前年同四半期比143.2%増）、営業利益88百万円（前年同四半期は営業損失67百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は85億7百万円で、前連結会計年度末に比べ8億26百万円の減少となりました。主な増加は、現金及び預金の増加11億23百万円であり、主な減少は、商品の減少4億99百万円、売掛金の減少4億89百万円、顧客関連資産の減少1億23百万円等であります。

負債は40億77百万円で、前連結会計年度末に比べ14億21百万円の減少となりました。主な減少は、短期借入金の減少4億円、長期借入金の減少2億47百万円、買掛金の減少1億76百万円、工事負担引当金の減少1億35百万円等であります。

純資産は44億29百万円で、前連結会計年度末に比べ5億95百万円の増加となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加6億47百万円であり、主な減少は、配当金の支払42百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2019年11月6日公表の業績予想から修正はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,123,918	3,247,610
売掛金	1,334,416	844,990
リース債権及びリース投資資産	43,706	352,959
商品	1,343,975	844,650
貯蔵品	603	851
その他	1,318,630	881,699
貸倒引当金	△2,666	△2,517
流動資産合計	6,162,584	6,170,243
固定資産		
有形固定資産		
土地	153,126	153,126
その他	996,476	829,392
有形固定資産合計	1,149,603	982,518
無形固定資産		
顧客関連資産	504,925	381,731
その他	14,080	25,331
無形固定資産合計	519,006	407,063
投資その他の資産		
差入保証金	805,396	742,974
その他	911,879	385,775
貸倒引当金	△215,154	△181,419
投資その他の資産合計	1,502,121	947,330
固定資産合計	3,170,730	2,336,912
資産合計	9,333,315	8,507,156
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,210,444	1,033,643
短期借入金	1,050,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	631,210	600,933
未払法人税等	165,861	81,305
賞与引当金	27,268	8,161
その他	770,726	444,478
流動負債合計	3,855,510	2,818,522
固定負債		
長期借入金	1,270,216	1,022,781
工事負担引当金	135,000	-
役員退職慰労引当金	66,374	68,399
その他	172,227	167,922
固定負債合計	1,643,818	1,259,102
負債合計	5,499,328	4,077,624

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	728,734	728,734
資本剰余金	688,336	688,336
利益剰余金	3,292,382	3,897,599
自己株式	△885,139	△885,139
株主資本合計	3,824,314	4,429,531
新株予約権	9,672	-
純資産合計	3,833,986	4,429,531
負債純資産合計	9,333,315	8,507,156

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	15,907,650	15,559,294
売上原価	13,270,760	12,698,316
売上総利益	2,636,890	2,860,978
売上利益調整		
繰延リース利益戻入額	-	2,648
繰延リース利益繰入額	-	207,307
売上利益調整額	-	△204,658
差引売上総利益	2,636,890	2,656,320
販売費及び一般管理費	2,423,226	2,194,223
営業利益	213,663	462,096
営業外収益		
受取利息	2,255	1,971
受取手数料	107,367	145,684
助成金収入	12,901	17,869
その他	8,712	20,361
営業外収益合計	131,237	185,888
営業外費用		
支払利息	16,144	14,006
その他	5,355	2,548
営業外費用合計	21,500	16,555
経常利益	323,400	631,429
特別利益		
固定資産売却益	946	436
関係会社株式売却益	-	232,805
その他	-	13,003
特別利益合計	946	246,245
特別損失		
固定資産売却損	-	762
固定資産除却損	6,093	7,715
減損損失	18,566	-
解約違約金	7,950	-
特別損失合計	32,610	8,478
税金等調整前四半期純利益	291,736	869,196
法人税、住民税及び事業税	154,155	190,100
法人税等調整額	△12,080	31,484
法人税等合計	142,074	221,585
四半期純利益	149,661	647,611
親会社株主に帰属する四半期純利益	149,661	647,611

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	149,661	647,611
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	149,661	647,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,661	647,611
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であった株式会社インチャージの株式を全て売却したことにより、株式会社インチャージは当社の特定子会社に該当しないこととなり、売却日が2019年11月1日のためそれ以降は連結の範囲から除外しております。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間において、株式会社クロードを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	モバイル 事業	オフィス サプライ 事業	環境商材 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	10,858,342	4,577,633	471,675	15,907,650	-	15,907,650
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3	9,221	2,099	11,324	(11,324)	-
計	10,858,345	4,586,854	473,774	15,918,975	(11,324)	15,907,650
セグメント利益 又は損失(△)	113,985	166,747	△67,069	213,663	-	213,663

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	モバイル 事業	オフィス サプライ 事業	環境商材 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	9,838,288	4,573,896	1,147,109	15,559,294	-	15,559,294
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	7,772	5,182	12,955	(12,955)	-
計	9,838,288	4,581,669	1,152,292	15,572,249	(12,955)	15,559,294
セグメント利益	164,268	209,156	88,672	462,096	-	462,096

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。